

2021年10月6日

東急不動産株式会社

## 再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業への参画が評価 経済産業省「ゼロエミ・チャレンジ企業」に選定されました

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志、以下「当社」）は、2021年10月5日、経済産業省による「ゼロエミ・チャレンジ企業（※1）」に選定されましたので、お知らせいたします。

「ゼロエミ・チャレンジ企業」は、経済産業省が脱炭素社会の実現をイノベーションで切り拓く企業を選定しリスト化するもので、日本経済団体連合会やNEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）と連携して実施しています。今回、当社の再生可能エネルギー（以下、「再エネ」）アグリゲーション実証事業への参画が、革新的環境イノベーション戦略のテーマ「再生可能エネルギーの主力電源化に資する低コストな次世代蓄電池の開発」・「系統コストを抑制できるデジタル技術によるエネルギー制御システムの開発」に合致し選定されました。当社は、今後も多様なグリーン之力（※2）で脱炭素社会実現に努めてまいります。



### ■ 再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業について

実証事業は再エネの主力電源化に向けて、発電量変動しやすい再エネを束ねて制御する再エネアグリゲーション技術を向上させることを目的に実施するものです。今回の実証では、発電量予測技術の検証や、再エネ発電事業者をグルーピングすることでインバランス回避に関する手法の検討や蓄電池等による再エネ発電量制御などの技術開発・検証を行うことで、再エネアグリゲーターの技術面・事業面の課題検討を行います。詳細は、2021年6月9日リリース『令和3年度 再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業』2事業に実証協力者として参画 ～再エネアグリゲーション事業構築による再エネ主力電源化への貢献を目指して～をご参照ください。

<https://www.tokyu-land.co.jp/news/2021/001285.html>

※1：「ゼロエミ・チャレンジ企業」の詳細は、経済産業省のリリースをご参照ください。

<https://www.meti.go.jp/press/2021/10/20211005004/20211005004.html>

※2：東急不動産ホールディングスグループでは、グリーンは環境への取り組みやサステナビリティの象徴であるとともに、私たちがめざす「誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来」の象徴でもあると考え、「WE ARE GREEN」をスローガンに新たな価値創造へ取り組んでいます。

## ■ 当社の再生可能エネルギー事業について

当社は、2012年度から再エネ事業の検討をスタート、2014年度から太陽光発電所の開発、2015年度から風力発電所の開発を開始し、将来の再エネ需要の高まりを見据え、新規事業としてスタートしました。これまで再エネ発電所を全国に開発中も含め67事業、定格容量1,197MWを展開しており（2021年8月末時点）、再エネ発電所の開発に大きな強みを有しております。

ReENE ホームページ <https://tokyu-reene.com/>

## ■ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」の取り組みテーマとSDGs

東急不動産ホールディングスグループは、2021年に長期ビジョンを発表しました。「WE ARE GREEN」をスローガンに、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来を実現します。価値を創造し続ける企業グループをめざして、重視する社会課題から抽出した6つのテーマに取り組み、SDGsの達成に貢献していきます。

本リリースにおける取り組みテーマ（マテリアリティ）

ウェルビーイングな街と暮らしをつくる

サステナブルな環境をつくる

貢献するSDGs



東急不動産ホールディングスグループ「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>